

**プロジェクト名**  
**衛星データで地域活力を創造する**  
**～キウイフルーツポテンシャル名産地発掘プロジェクト～**

**衛星データ利用者名**  
**ゼスプリフレッシュプロデュースジャパン株式会社**

**サービス提供者名**  
**株式会社 天地人**

**プロジェクト概要**  
 本プロジェクトは、土地選定リスクの低下及び現地調査等による事前調査の負担軽減を目的に、衛星データ解析による土地評価マップを提供するシステム『天地人コンパス』を開発し、ゼスプリフレッシュプロデュースジャパン社(以下、「ゼスプリ社」と記す)に提供するものである。  
 実証対象は「衛星データを活用した土地評価」という従来にないサービスそのものであることから、ゼスプリ社と密に連携したアジャイルな開発プロセスを実行した。

**導入前**

**<イメージ>**

- 土地探しの初動は勤やロコミに頼っていた
- 気象は気象庁のサイトをその都度確認し、データ整理を行いつつ、ゼスプリ社内のガイドラインと照合
- 地形は遠方での現場を見に行くこと
- 土地情報は自治体へ問い合わせる

美味しくて収量の見込める土地(ガイドラインに合致しつつ、その中でもより最適な土地)をより簡単に探索したい

**導入後**

**<イメージ>**

- 衛星データを活用した、天地人コンパスで、面的な情報を表示し土地探しができる
- ゼスプリ社内のガイドラインを取り込み、地表面温度、降水量、地形に関する様々な評価指標をリスクスコア化
- リスクが低い場所の中から任意の場所を選択すれば、機械学習を活用し、良い成果を出している実績エリア(ベストプラクティス)との類似性を5段階で表示
- 土地情報は、農林水産省のデータプラットフォームWAGRIよりレポートし、ワンストップなサービスへ



**活用したデータの種類**

**<衛星データ>**  
 地表面温度: MODIS, GCOM-C  
 降水量: GSMAP(GPM core, GCOM-Wなど複数衛星)  
 地形: ASTER

**<地上データ>**  
 ゼスプリ社提供情報: 土地選定ガイドライン(評価指標)  
 ゼスプリ社実績情報: 糖度、硬度、重量(機械学習)  
 WAGRI: 農地情報

**データからアウトプットへの変換イメージ**



**衛星データに関する要望**

天地人コンパスは過去データが重要となるため、今後もデータの蓄積・保存をお願いしたい。また準リアルタイム用途では、観測頻度が向上されることを望む。

**サービス導入による効果(定量的に)**

- 天地人コンパスにより、複数衛星から抽出した情報をもとに、広域(九州全域: 36,000km程度、1km2分解能)の、土地評価が可能となった。(サーバーの増強次第で、世界中の評価が可能)
- 従来、勤やロコミに頼っていた土地評価を、広域・定量的に可視化することで、作業を大幅に効率化する。

※1 フォントサイズは10pt以上とすること。 ※2 A4サイズ横1枚以内に収めること。 ※3 代表者を下線で示すこと。